

かたな
「刀」 県宝（工芸品）

所在地：大字坂城 所有者：個人 指定：昭和41年2月24日

「山浦環正行 天保十一年八月日」の銘^{めい}があつて、刃長80.3cm、反り2.2cm。鎬造^{しのぎ}り、庵棟^{いおりむね}で、
茎^{なかご}は化粧鑢^{やすり}で先は栗尻^{くりじり}です。目釘穴^{めくぎあな}は一つ。

地鉄^{じがね}は板目^{いため}で柂^{まさ}がかっています。刃文^{はもん}は互^ぐの目^めで、金筋^{きんすじ}に砂流^{すなが}しがかかり、銚^{にえ}づいています。山浦清
磨^{やまうらきよ}の作^{まろ}。

清磨^{やまうらまさお}は刀工山浦真雄^{ぶんか}の弟^{ちい}で、文化10年（1813）小泉郡赤岩村^{ちいさがたぐんあかいわむら}（現東御市^{とうみし}）に生まれ、幼名^{ようみょう}を環^{たまき}とい
います。兄真雄と共に作刀につとめ、弘化2年（1845）源^{みなもと}清磨^{のきよまる}と銘^{めい}を改^かめ作刀^{はげ}に励^かみましたが嘉永7
年（1855）死去^{かえい}しました。この刀は同人^{どうじん}の初期^{しうき}から中期^{ちうき}にかかる作品^{さくひん}です。

